

産地戦略

実施主体 群馬県（中部普及指導課）
 都道府県 群馬県
 対象地域 前橋市
 対象品目 ホウレンソウ

実施期間 令和5年度



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
● 化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

群馬県前橋市では、ホウレンソウの生産を行っているが高齢化等による労働力不足や肥料・農薬等の資材費高騰が課題となっている。本事業により、①堆肥混合肥料の導入による化学肥料を低減した施肥体系やセルフブレンド肥料による肥料施用時間の削減、②太陽熱土壌消毒の導入による化学農薬の使用量を低減した防除体系や除草作業の省力化に関する検証を行い、①及び②を組み合わせたグリーンな栽培マニュアルを作成し、グリーンな栽培体系の普及を図る。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
主な作業名					堆肥投入 土壌消毒	基肥施用 播種	除草剤			収穫				
技術名					化学農薬	化学肥料	化学農薬							

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名				施肥設計	堆肥 土壌改良材	基肥 播種			収穫				栽培マニュアル参照
技術名				太陽熱消毒 土壌分析	セルフブレンド 堆肥混合肥料								栽培マニュアル参照

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R5	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	92	▶ 95	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.3	▶ 5	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境	化学農薬のみの防除	▶ 太陽熱消毒	化学農薬の使用回数の削減
環境 省力	化学肥料のみの施肥	▶ セルフブレンド技術の活用 堆肥混合肥料の活用	化学肥料の削減 肥料散布労力の軽減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境	化学農薬の使用回数（回）	3	▶ 1	土壌消毒剤、除草剤計3回→1回
環境	化学肥料の低減（N成分/kg）	28	▶ 22	
省力	肥料散布時間（時間/10a）	1.2	▶ 0.5	堆肥と化学肥料を別々に施用

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）

* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのかが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

群馬県前橋市は、県内で有数にホウレンソウ産地であるが高齢化等による労働力不足や肥料・農薬等の資材費高騰が課題となっている。本事業により化学農薬と化学肥料の低減及び省力時間の効果を検証した結果をグリーンな栽培マニュアルを作成し、今回の実証の結果をJ A前橋市管内のホウレンソウ生産者を対象にマニュアル等を活用し講習会等で啓発普及、定着を図る。

関係者の役割

関係者名	技術支援課	中部農業事務所普及指導課	J A前橋市	J A全農ぐんま、メーカー
役割	事業コーディネート、技術指導	技術の普及、技術指導	技術の普及、技術指導	肥料の普及支援、情報提供、セルフブレンド支援

その他